



清瀬の未来を拓く 学校づくり

【清瀬小学校で行われた「新しい学校プロジェクト」の制作物】
新しい学校はどんな学校にしたいのか、学校のどんなところが好きなのかを子どもたちが葉っぱに書いて「クラスの樹」をつくりました。

◆新校開校までのスケジュール

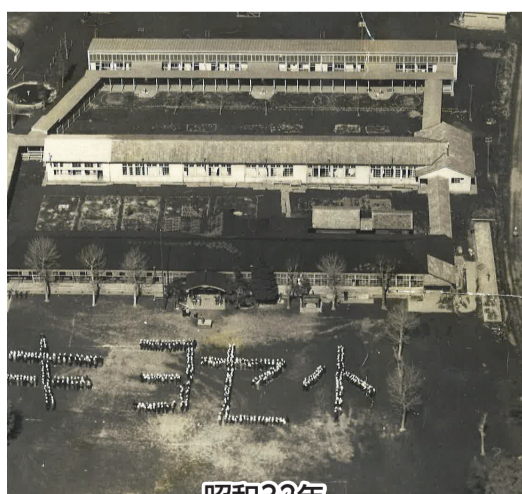
市は、今年で開校から126年を迎える清瀬小学校を、新しい時代の学びに適した学校とするために校舎をリニューアルします。令和11年度の新校の開校に向けて、「清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会」を設置するとともに、特別講演会の開催、市民ワークショップの開催や教職員アンケートの実施など、さまざまな取り組みをとおして保護者や子どもたち、教職員や地域の方々と一緒に新しい学校づくりを進めています。

清瀬小学校が新校になるまでのスケジュール(予定)をご紹介します。☎教育企画課企画係 ☎042-497-2537



令和4・5年度の2年間かけて新校開設に係る基本構想・基本計画を策定します。ここでは、学校づくりの理念や目標、それを実現するために必要な空間、施設づくりに関する考え方などが示されます。その後、令和6・7年度で建物の設計をし、令和8年度から10年度の工事を経て、令和11年4月に新校が開校する予定です。

歴史と伝統に支えられた新たな学校づくりを目指します



昭和32年

創立60周年を迎えた際の記念写真

明治31年3月、清瀬小学校の前身である清瀬村立昇進小学校が誕生しました。記録によると校舎は平屋づくりで南側に表門、学校の裏には小山があったそうです。

昭和30年ごろになると、3棟の木造校舎となり、学年は2クラスで1クラスあたりの児童数は50人以上だったという記録が残っています。

同校の歴史と伝統が生み出した誇るべき清瀬の学校教育を礎に、新しい時代に求められる学校づくりを目指します。



創立120周年記念オリジナル

キャラクター「清イチ君」を校庭に表現